

エスディージーズ

SDGsは社会の新しい価値基準

遠い国が抱える悩みも、隣の友だちが抱える悩みも、問題に優劣はありません。

SDGsが目指すのは“地球上の誰一人として取り残さない”こと。

みんなでできること、自分にできることを考えるきっかけを、シズデ TRY SDGs から。

Why なぜいまSDGs?

一人ひとりの力は小さくとも

その力を全部合わせれば未来を変えられる大きな力に

- いま地球は、開発や乱獲など人類が原因の「第6の大量絶滅時代」を迎えてます。紛争やテロ、気候変動など、数多くの課題も抱えています。このままでは地球で暮らし続けることができなくなってしまうといわれています。もう人ごとではすまない崖っぷちまで人類はきてしまったのです。これをなんとかすべく国連が立ち上りました。数年かけて世界中の人々の声を聞きとり、課題を整理し、解決するための目標をたてました。それが『持続可能な開発目標 SDGs』です。
- まずは知つてもらうための戦略でカラフルアイコンがデザインされました。SNS経由であつという間に広がり、SDGsは一部の人々のものではなく、誰もが知る地球一有名なプロジェクトになりました。
- 同時に、環境問題や社会問題を考え解決しようとしている企業に多額の投資をしていくうという、責任投資原則がさらに注目を集めます。いまSDGsについて考え、経営方針に反映させていかないと企業価値や株価が上がっていかない、そんな時代がきました。みなさんの進路や将来の展望にも、大きく関わる出来事です。「SDGsについてどれだけ考え方行動しているか」が、人と社会と環境を考える上での、新しい価値基準になりつつあります。



†注意: SDGsカラーホイールは、色を変える、文字を入れる、重ねる、変形させる、薄くするなどの加工は禁止されています。

What SDGsってなに?

17のゴール・169のターゲットで構成される

2030年までに達成を目指す『持続可能な開発目標』のための国際目標です

“地球上の誰一人として取り残さない”をスローガンとして掲げています

- ミレニアム開発目標(MDGs／2001年策定)の後継として、国連サミットで2015年9月に採択されました。
- SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組む継続的・普遍的なものであり、問題をみんなで共有し、いろいろな手法で協力し解決していくことを世界規模で行動に移そうとしています。日本でも、産学官民(産業界、学校、官公庁、民間の四者)がパートナーシップを組み積極的につながり合いながら、2030年に向けて様々な課題解決に取り組み、成果を出しつつあります。

SDGs 17 の ゴール

1 貧困をなくそう	2 脂質をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を表現しよう
6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう
12 つくる責任つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	11 住み続けられるまちづくりを
16 平和と公正をすべての人に	17 パートナーシップで目標を達成しよう			